



万倉小だより



【教育目標】「地域を愛し、人を大切にする子どもの育成」

子どもの学びと大人の学びは相似形

新たな教師の学びの姿として、教師自らが問いを立てて実践を積み重ね、振り返り、次につなげていく探究的な学びを行う、子どもたちにとって重要なロールモデル、お手本となることが令和の日本型学校教育を実現するために必要であると言われています。山口県教育委員会は、「子どもの学びと大人の学び」は相似形であるという言葉で表現しています。

めざすゴールを定め、それを達成するためにまず何をするか決め、やってみた手ごたえから修正点や改善点を見出し、全く異なる方法に乗り換えるのか継続するのか比較検討決断するという探究を繰り返しながら授業を、子どもたちの学びをよりよくしていくために教員は、見えないところで努力を積み重ねてきました。そして、美しく出来上がった部分だけを子どもたちに見せてきましたが、これからの時代は、そのプロセスも子どもや保護者、同僚、地域の方々と共有していく方が良いという流れになっています。



そこで、万倉小玄関を入ると正面に見える校長室のガラスに教職員の今年度の目標を掲示しました。子どもたちにも分かるように言葉を選んだので、通りがかる際に読んでくれている姿をたくさん見ます。それぞれがたどり着きたい目標を知っておくと、声掛けの内容もタイミングも選ぶことができます。4月号の「和なる者は、天下の達道なり。」相手の気持ちを考え、違いを認め合い、自分の思いも大切にしながら、よりよい答えを一緒に見つけようとする。友達と考えが違ったり、うまくいかなかったりするときでも、相手の話を聞き、話し合い、助け合おうとする。そんな「和」の姿がより充実していくと思います。

来校された際は是非ご覧ください。そして、目標に近づく取組になっているか、よりよくしていくためにはどんな工夫が考えられるか、一緒に話し合えると嬉しいです。子どもたちの学びの良いお手本になれるように、真似た子どもたちの学びが一段と深まるように頑張っていきましょう。

学び方の資料

認知心理学の知見に基づく効果的な学習方略の例 参考資料③

<p>分散学習</p> <p>時間の間隔を空けて復習することで、長期的に学習内容を定着しやすくなる</p>	<p>検索練習</p> <p>学習内容を機動的に思い出す練習をする事で、記憶の定着と新しい状況での応用につながる</p>	<p>交互配置 (インターリーブ)</p> <p>同じような問題を解き続けるのではなく、トピックを切り替えるから学習する</p> <p>課題Aの学習 → 課題Bの学習 → 課題Cの学習</p> <p>課題A → B → C 課題B → C → A 課題C → A → B</p>
<p>精緻化</p> <p>理由や意味など、学習している内容に情報を加えて深く、多角的に理解する</p>	<p>具体化</p> <p>抽象的な概念を学習する際、具体的な例を用いて説明する</p> <p>A B C</p>	<p>二重符号化 (デュアルコーディング)</p> <p>言語的な情報と視覚的な情報を組み合わせることで、情報を思い出しやすくする</p>

Watanabe et al. (2016) 7月号5月号11月号、研究上二巻二冊に掲載された4つの効果的な学習方略について、「認知心理学の知見に基づく効果的な学習方略の例」(東京書籍) 1月号2月号3月号4月号5月号6月号7月号8月号9月号10月号11月号12月号

全国の学校教育の基準を定めている学習指導要領改訂に向けて、中央教育審議会のいろいろな部会で話し合いがなされています。R7.12.15に行われた部会の資料に「個に応じた学習過程の充実について」というものがありました。多様な学び方の例が載っていて、非常に参考になりました。学びのタネはあちこちにありますね。

フラスマテレビ開発者

篠田さん夫妻来校

5/28(木)の午後に篠田傳(つたえ)さんご夫妻が来校されました。

開発、実用化から25年以上にわたり社会や産業発展に多大な貢献をした技術業績をたたえるIEEEマイルストーン賞に認定された記念の銘板レプリカ3枚のうち1つを万倉地域に設置くださるということでお預かりしました。

今でも紫外線をつかった水の浄化について研究を進められているようで、ご夫妻で研究や経営の話をとくさんお聞かせくださいました。

銘板は万倉ふれあいセンターに設置する予定です。ありがとうございました。



市長さんも一緒に

全校で田植えをしました

今年から万倉小のすぐ上の田んぼをお借りして、年間通した「稲作体験」を行います。

6月5日(金)の午後、万倉子ども委員会(河崎会長をはじめとする皆様)のご支援のもと、初めて全校児童での田植えを行いました。当日は篠崎宇部市長も駆けつけてくださり、子どもたちと一緒に泥に足を入れながら植えてくださいました。

田植え未経験の3年生以下の子たちは、最初は慣れるまで少し時間がかかりましたが、上級生の並び方を見習い、無事に植え終わりました。秋に立派な稲穂が実り、収穫を迎えるのが今からとても楽しみです。地域の皆様、温かいご指導をありがとうございました。



←並んで上手



田んぼでの救出

7月の行事予定

- 2日(木) スクールミーティング3～6年生
- 6日(月) いじめ問題対策会議、口座振替・集金日
- 8日(水) あおぞら号、トウモロコシ皮むき5, 6年、マーチング
- 10日(金) 外庭そうじ、こもればの郷でのやさい販売1, 2年
- 15日(水) 地区児童会
- 16日(木) 1学期給食最終日、希望個人面談
- 17日(金) 1学期終業式
- 18日(土) ～8月24日(月) 夏季休業(夏休み)

元気な姿で再開できることを期待しています。
嬉しかったり、楽しかったり、時には悔しかったり、悲しかったり、充実した日々を過ごしましょう。